

誌上

交通安全啓発

子どもを事故から守りましょう！



平成十五年に、区内で発生した交通事故は六百四十七件。四人の尊い人命が失われ、けがをした人は八百二十八人にも上ります。

来月はいよいよ入学シーズン。小さな新一年生たちが通学路に登場する時期を前に、私たち一人ひとりが交通事故防止の気持ちを新たにしたいものです。

そこで今月は、ボランティアとして地域の交通安全に取り組んでいる、区交通安全指導員のお話を交え、特に子どもたちを事故から守るポイントを再確認してみましよう。

大切なこともたちを

事故から守る心構え

もうすぐ春。新年度になり、新一年生たちが元気いっぱい学校へと向かう季節です。まだ歩き慣れない道を、一生懸命に横断歩道を渡りながら通学する姿が今から目に浮かびます。

しかし、道路には危険が潜

■区内の人身交通事故発生状況■
(平成15年中：豊平警察署調べ)

発生件数	647	件
死者	4	人
重傷	40	人
軽傷	788	人

んでいます。多くの自動車が行き交い、春先からは、歩道を守る自転車も増えてきます。保護者から離れて歩く機会

■区内の児童の状態別傷者数■ (平成15年中：豊平警察署調べ)

年齢	状態		
	自動車に乗車中	自転車に乗車中	歩行中
未就学児	8人	0人	1人
幼稚園児	3人	1人	1人
小学生	9人	8人	10人

が増える小学生。歩行中、事故に遭う件数は、就学前に比べ、やはり格段に増える傾向にあります。

大切な子どもたちを事故から守るため、保護者やドライバーなど私たち大人が、日ごろから交通事故防止の心構えを持つことが大切です。

交通安全指導員からのひと言

朝の通学時間になると、各小学校の校区ごとに、通学路上の横断歩道付近で子どもたちを見守る大人たちの姿があります。地域の交通安全指導や街頭啓発など各種の活動を

ボランティアで行っている交通安全指導員です。現在、区では四十一人の指導員が活動しています。

清田小学校区を担当する猪野毛昭男さんは「歩行者用信号が青の点滅になったら、絶対に渡らないよう、呼び掛けています。右折車が急いで曲がってくる人が多いですから」と話します。対向車を避けて急に右折する車には十分注意が必要です。



また「駐車場などから信号に関係なく飛び出してくる車が結構ありますね。信号を見るだけでなく、自分の目で安全を確認することが大切です」と話すのは清田南小学校区担当の渡部トモさん。さらに、二人とも「この時期、自転車通勤や通学が増えるため、歩道を守る自転車にも注意が必要。自転車もマナーを守って、スピードは決して出さないようにしてほしい」と話していました。

保護者の皆さん

道路には常に危険があることを教えてあげましょう

- 車は速く、急には止まれないこと
- 青信号でも右左折車があること
- 車の陰からの横断は危険なこと
- 左右をよく安全確認して横断すること
- 信号機や横断歩道のあるところを渡ること

基本 ①止まる②見る③聞く④待つ⇒横断！

お願い！



ドライバーの皆さん

子どもが飛び出してきそうな場所ではより慎重な運転を心掛けましょう

- 学校付近は一段とスピードダウン
- 右左折時、同じ青信号で横断する子どもに気を付けましょう
- 減速・急停止した車の陰からの急な飛び出しに注意
- 駐車場から歩道を横切って車道に出るときは、歩行者に注意して、ゆっくりと

区役所二階の区交通安全運動推進委員会では交通安全啓発のリーフレット「セーフティきよた」を配布しております。ぜひご覧ください。